

FIDELIX フォノイコライザー LEGGIERO 取扱説明書

このたびは LEGGIERO(レジェーロ)をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになって、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。フィデリックス製品は安全性に充分配慮し、設計していますが、しかし、全ての電気製品は誤った使いかたをすると、火災や感電などの人身事故になる恐れがあり危険です。事故を未然に防ぐためには下記の注意事項をよくお読みになって、必ずお守りください。

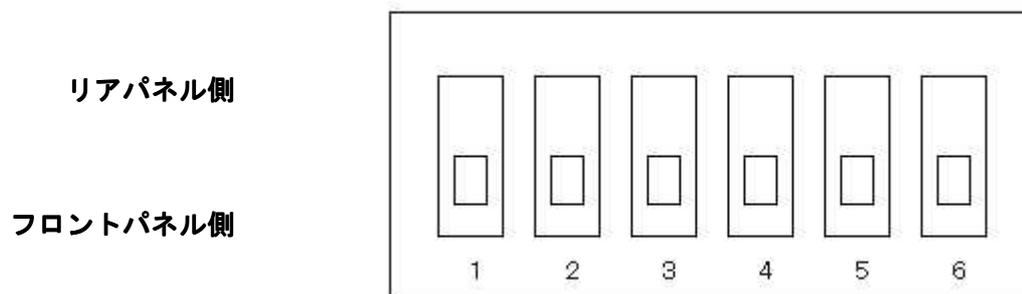
- 1 動作がおかしくなったり、電源コードが破損しているのに気付いたら、すぐに電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、またはフィデリックスへ修理をご依頼ください。
- 2 水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、またはフィデリックスへ修理をご依頼ください。
- 3 本体を布団などで覆った状態で使わないで下さい。熱がこもって火災の原因になる可能性があります。雷が鳴りだしたら、本体には触れないでください。感電の原因になります。

本機の特徴

LEGGIERO は MM と MC に両対応したフォノイコライザーです。特に MC 入力はフィデリックスが独自に開発した V-I-V 方式を搭載しています。初段で電圧電流変換し、後段にて電流電圧変換を行ないます。この構成によって-156dBV という極めて低い入力換算ノイズと、ギガ Ω クラスの高い入力インピーダンスと、高い直流安定性を同時に得ています。これは 1993 年に発売したプリアンプ MCR-38 でもすでに採用していた方式です。

高い入力インピーダンスにすると、鉄芯 MC であっても、空芯 MC に近いような漂う空気感までも再現します。この増幅回路の全てが JFET のクラス A 動作で構成され、その他の部品も抵抗は非磁性の PRP 社の抵抗、コンデンサーは現時点で最も高音質が得られる PPS フィルムを採用し、信号回路にはケミコンを一切使用していません。これらは微妙な質感の再現にも気を配った結果です。また、全段とも電源は、ほぼ一定電流の動作をさせることで、電源を安定させ、電源を通じて各段が干渉することを防いでいます。このため、繊細でしなやかな表情と力のある明瞭な低音が両立しました。

底にあるディップスイッチの配置



低出力 MC カートリッジの使い方

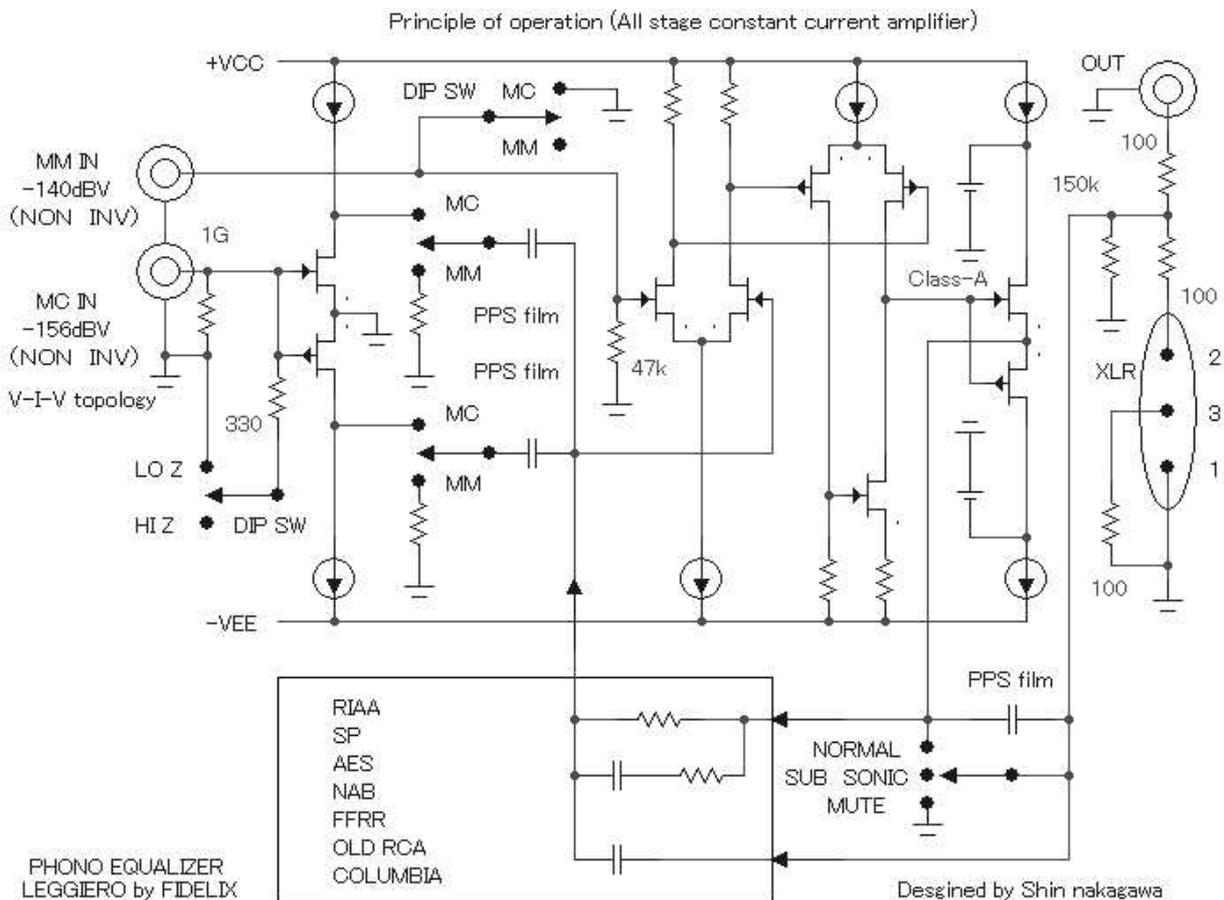
入力端子は Lo MC と GND に入れ、リアパネルのセンターにあるスイッチを上側にセットします。ショートピンを MM/Hi MC 端子には差し込みます。底にあるディップスイッチの 1 番と 6 番とをリアパネル側にセットすることで、ショートピンの代わりにします。厳密にはショートピンよりも好ましいです。ただし、このままだと MM にした場合に音が出ませんので故障と勘違いしない様に十分な注意をお願い致します。

本機の最大の特徴は 2 番と 5 番のスイッチをフロントパネル側にセットすることで MC での入力イ

インピーダンスを 1G オームに上げることで、微細な音の再現に際立った能力を発揮しますが、装置の状態を十分に整えた上で試みてください。この状態で、カートリッジ交換をすると、盛大なハムが出たり、飛びつきで発振音が出たりしますので、必ずボリュームを絞るか、ミュートスイッチを使うなど、慎重に扱ってください。2番と5番のスイッチをリアパネル側にすると入力インピーダンスは330Ωになり、盛大なハムや発振音は抑えられます。装置の状況次第によってはこちらの方が好ましく聴こえる場合も有り得ます。3番をフロントパネル側にセットすると右のアースと左のアースが完全に分かれ、独立したモノラルが2台という構成になるので、広大な臨場感が味わえます。なお、4番は未使用です。

MM/高出力 MC カートリッジの使い方

MM や IM や VM か、高出力 MC カートリッジを MM/Hi MC 入力端子と GND に入れます。低出力 MC カートリッジであっても、ステップアップトランスを通した場合はこの入力端子を使います。リアパネルの中央にあるスイッチを下側にして使います。上側にしても音は出ますが、本来の性能は発揮されません。底にあるディップスイッチの1、6番をフロントパネル側にしないと音は出ません。故障と勘違いしないようにご注意ください。



出力端子の使い方

XLR は世界標準の 2 番ホットになっています。信号は 2 番のみで、3 番には出ませんが、最近のマイクロフォンなどでも多く使われている問題の無い方式です。なお RCA と XLR は同じ品質なので、受け側の都合で好ましい方で使うようにしてください。

GND 端子の使い方

アームのアースを接続します。モーターのアースは特に問題がない限り接続しないことをお勧めし

まず、バナナ端子を使っていますので、最初はハンダ付けを必要としますが、その後は非常に便利です。簡便な方法として、剥いた線をバナナの穴に差し込み、その上からバナナの雄を差し込むことで、線を挟むという使い方もできます。

ミュートスイッチ

3段階のスイッチは、上がノーマルで普通はここで使用します。レコードに反りや偏心があったり、アームが揺れやすい場合はセンター位置にすると、サブソニックフィルターが働きスピーカークの動きが安定します。一番下は音量を下げるミュートスイッチで LEGGIERO のいろんな操作時に便利な使い方ができますが、完全な無音にはあえてしていません。音が正常に出ない場合はこのスイッチや MM、MC の切り替えスイッチや、底のディップスイッチをよくお確かめになってください。

イコライザーカーブの使い方

LEGGIERO は RIAA を基準に、正面左のロータリースイッチで 50Hz 以下が -4dB、-2dB、0dB、+2dB、+4dB の 5 段階、2kHz 以上は右のロータリースイッチで -2dB、-1dB、0dB、+1dB、SP 用の 5 段階が選択できます。これらの組み合わせによって 25 種類のカーブが選べるので、RIAA 以外の SP、AES、NAB、FFRR、OLD RCA、COLUMBIA に似たカーブが選択できます。古いレコードにはいろんなカーブがありましたが、特に旧ソ連や東ヨーロッパのレコードは RIAA への統一が遅れ、NAB に近いものが続いています。本来の録音意図を鑑賞することも、デジタル化するにも大いに役立ちますが、録音は完全なものばかりとは限りませんので、臨機応変にトーンコントロールのように自由に使うのも良しです。

電源の使い方

本体と電源は 6P の DIN コネクタで接続します。AC100V 地域のみならず、AC120V 地域までにも対応していて、消費電力は 6W と少ないです。電源を切れば待機電力はありません。赤いマークのある方が電源のホット側になります。意図的にアース端子の無い 2P プラグの直出しにしています。シーソースイッチの電源を入れると電源と本体の LED が緑に光ります。

本機は音質重視に徹した設計をしていますので、電源を入れる時と切る時にはいくらかのポップノイズが出ます。こういった操作をする際は必ず本機のミュートスイッチを下側にするか、後段のボリュームを絞る習慣をお願いいたします。後段アンプ類のセレクタースイッチを使っていないポジションにするのも有効です。一般的に電源を入れるときは上流の機器から入れ、最後にパワーアンプを入れます。切るときはパワーアンプを真っ先に切るなら、ショックノイズとは無縁です。MC と MM の切り替え時にも大きなショックノイズが出ますので、この切り替えの際にも同様のご注意をお願い致します。頻繁に切り替えて使うことを前提に設計していませんので、マイナスインプライバーなどを使うよう、わざと使い難くしてあります。

AC コード

このコードを AC100V~120V で 50Hz/60Hz の商用電源に接続します。直出しのコードで真価を発揮するよう、細心の注意を払って設計しています。また、最近ではいろんな電源機器が発売されていて、良くできているものもありますが、なかには、

- 1 電源の波形は綺麗なサイン波にはするものの、スイッチングノイズを発生させ、高域に輝きすぎるクセが付いたり、条件によっては小さなジューという電氣的なノイズを混入させるものがあります。
- 2 電氣的なノイズは抑制するものの、電源インピーダンスが上昇し、低音楽器のエネルギー感を損なわせるものがあります。
- 3 うなり音や風切り音を出し、それによって再生音に悪影響を与えるものがあります。
- 4 電源容量が少なく、瞬間的なピーク電流が不足したり、発熱の原因になるものがあります。
- 5 何ら科学的な根拠もなく、おまじないグッズのようなものがあります。

以上のような機器を使用すると性能を損ねるだけでなく、無用なトラブルが生じる可能性もありますので使用に当たっては十分な検討を加えたうえで使用してください。

設置の方法

音質を重視しているため、ハードな足を使用しています。このため台には傷をつけ易いので硬質プラスチックのシートを敷くなどの工夫をしてください。金属シャーシの機器の上に直接乗せないようにしてください。本機の性能が十分に発揮されない可能性があります。MC用のアンプはとにかくハイゲインなので、本機の電源のみならず、他の機器の電源トランスやモーター類に近づけるとハムを拾うことが有りますので、出来るだけ離す様に工夫をしてください。

出力ケーブルについて

同軸をお使いになるならモガミ電線の2803(両端RCAプラグ)をお薦めいたします。原音に近い、澄んだ高域と締まった低域が特徴です。価格は消費税送料別です。

0.5m	14,300円	0.7m	15,860円
1.0m	18,200円	1.5m	22,100円

送金先 三井住友銀行清瀬支店普通口座 3064084 有限会社フィデリックス

仕様

●入力インピーダンス MC:1GΩ or 330Ω/MM:47kΩ ●出力インピーダンス RCA:100Ω/XLR:200Ω ●ゲイン MC:65dB/MM:40dB ●入力換算ノイズ MC:-156dBV/MM:-140dBV ●入力換算雑音密度 MC:0.3nV/√Hz、MM:1.8nV/√Hz (1kHz) ●全高調波歪率:0.01% (2Vrms@1kHz) ●最大出力電圧:6Vrms ●RIAA 偏差:±0.4dB (20~20kHz) ●サブソニックフィルター:16Hz (-3dB@50kΩ 負荷) ●突起部含まない寸法と重量:本体約150(W)×50(H)×250(D)、約1.2kg 電源約65(W)×50(D)×130(D)、重量約0.6kg ●動作温度:5°C~35°C ●電源 AC100V~120V、50/60Hz 6W(@AC100V) ●電源線はアース端子の無い2線式 ●主なケーブル:RIAA、SP、AES、NAB、FFRR、OLD RCA、COLUMBIA ●付属品 RCA用ショートピン2個、GND用バナナ1個

アフターサービスと部品の保有期間など

- 1 この製品には保証書が添付されていません。保証期間は、お買い上げ日より3年間で、購入時の伝票(コピーでも可)や振込み記録などが保証書の役目を致します。
- 2 調子が悪いときはこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも改善されないときはお買い上げ店、またはフィデリックスにご連絡ください。
- 3 保証期間中の修理は自然故障に対して無償で修理を致します。保証期間経過後は修理することによって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理をさせていただきます。
- 4 当社では、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有致します。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。しかし、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、フィデリックスにご相談ください。
- 5 正しい分解方法によらないで、無理やり分解をすると壊れます。仮に分解できたとしても特殊工具がないと組み直すことはできません。菊座という重要パーツを入れ忘れてしまうとハムや発振音が出る原因になります。当然ながら分解をすると保証期間内であっても無償修理は適用されません。
- 6 本機の仕様および外観は、都合により予告なく変更することかありますが、ご了承ください。
- 7 CEマークは、法的に強制されている国「主としてEEA(欧州経済地域)に加盟している国」向けに販売した製品に対してのみ有効です。
- 8 本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われる時のご相談については、下記までお知らせください。お問い合わせの際は、型名LEGGIERO、およびお買い上げ年月日、ご相談内容などできるだけ詳しくお知らせください。

204-0022 東京都清瀬市松山2-15-14 有限会社フィデリックス

TEL & FAX 042-493-7082 URL: <http://www.fidelix.jp> mail: info@fidelix.jp